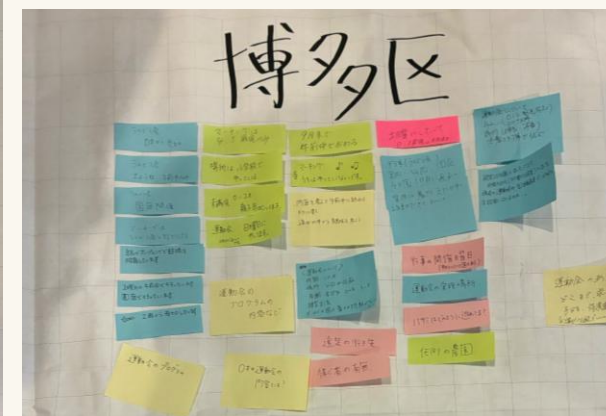
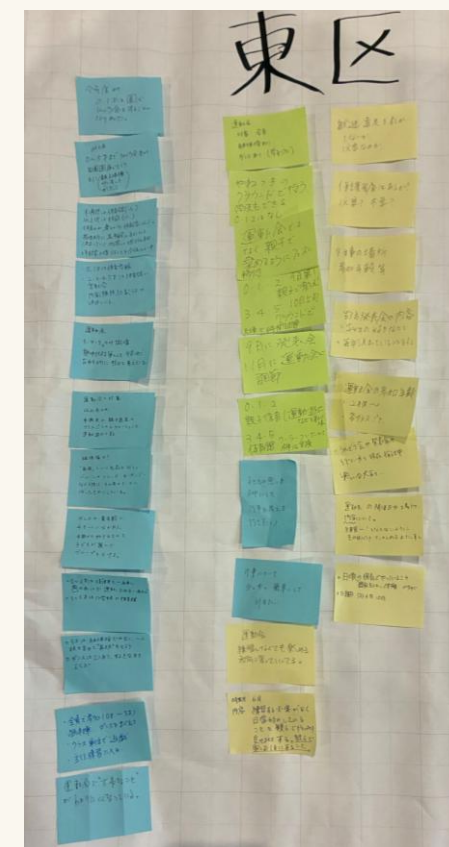
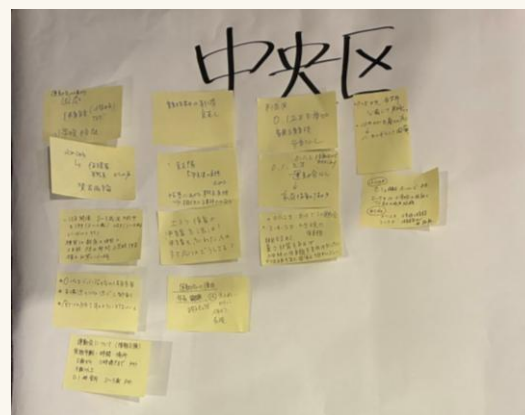
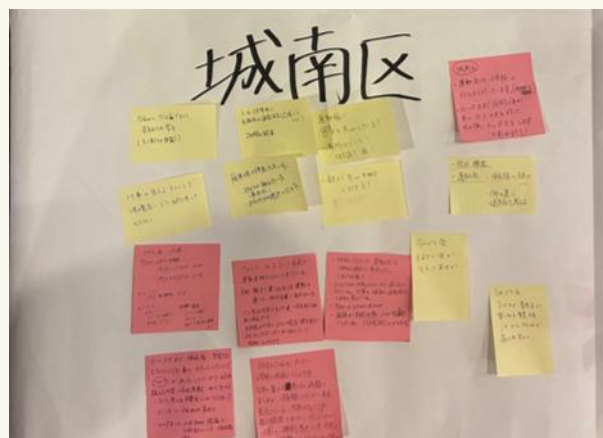


福岡市の運動会 情報交換

主任保育士のみなさんの
実践と迷いから考える



情報交換(170枚)の声を、次の保育へ

2026年9月 福岡市保育士会 主任保育士情報交換・付箋記録

情報交換の目的・資料の見方

他園の選択肢を知り、自園の運動会を考える

対象

提供された付箋写真4枚のうち、運動会について判読できた内容を整理。付箋は170枚1枚に複数の情報含んでいる。

記録と分析

実践・質問は付箋に基づく。
「再構成」は、記録を横断した分析として示す。

読めない文字は補わない。付箋の件数を園数に置き換えない。
区別の比較や、全市の実施率・増減を示す資料ではありません。

開催方法の多様化

対象年齢	0～5歳全員 / 2歳から / 3～5歳のみ
二部制	0～2歳と3～5歳 0・1歳と2～5歳など、年齢の分け方もさまざま。
三部制・クラス別	3・4・5歳を年齢別に開催する例や、 クラスを分けて開催する例。

参加する年齢と、集まり方を組み合わせている

未満児の参加を、別の形で考える

0～2歳児の実践例

- ☆保育参観・親子保育として実施
- ☆親子で運動遊びを楽しむ
- ☆別日・別時間・園内で開催
- ☆0・1歳は参加なし、見学可
- ※保育が必要となる

考えたいこと

その年齢の子どもが
安心して楽しめる
参加の形は？

参加年齢だけでなく、子どもにとっての経験を考える論点です。

時間の設定と分散開催

午前中のみ 多数意見

2時間程度

11時頃まで・12時終了を目標

二部制・三部制では
集まる人数や時間を
分ける工夫も。

分析の視点:時間の長さに加えて、年齢に合う内容や
一人ひとりの参加しやすさを考える。

場所・時期にも、複数の選択肢

場所

園庭・園内
小学校のグラウンド・体育館
地域の体育館

時期

5月・6月・9月・10月・11月
暑さを意識した記載や
開催月を変更した例も。

今までそうしてきたから・・・ではなく。

年齢で会場を分ける例や、晴天・雨天で使い分ける例がある。
会場の広さと、保護者の参加人数も検討事項。

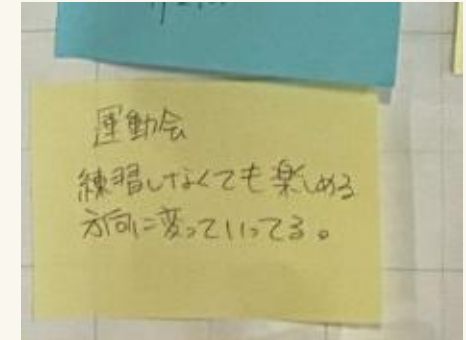
日常保育につながる内容へ

「練習しなくても楽しめる
方向に変えていってる。」

付箋の言葉(抜粋)

日頃していること(遊び)を見てもらう。
普段の運動遊びを内容に取り入れる。

分析:行事のための過度な練習を見直し、
日常の遊びや育ちを行事につなげようとしている。



子どもの選択と、つくる過程

ダンスを子どもが選ぶ つくる
子どもの思いを大切にして行事を考える

かけっこ・リレー・ダンス・表現など、
活動の種類は多様。つくる過程にも目を向けたい。

自園で考える問い

子どもは、何を選び、どのように関わっているだろう？

親子で参加し、育ちを共有する

親子競技・親子参加・親子保育

「ファミリーフェス」という名前で運動会的なイベントを行う例も。

分析

子どもの姿を見ることに加えて、一緒に遊び、楽しさや育ちを共有する機会へ。

主任保育士が悩んでいること

何歳から 0・1歳児はどう参加する？

何をする 親子で楽しめる内容は？

どこまで練習する 挑戦する経験と、負担の境目は？ 苦痛に感じている子は？

何を大切にする この行事で、どんな育ちを支えたい？

「運動会で大事なことがわからなくなっている。」

付箋の言葉(改行を整理)

行事を変える難しさ

— 保育者の思いと、保護者の期待 —

保育者の思い

「マーチングをやめたい」

行事のための練習や内容を見直したいという声

主任保育士の悩み

行事を変えたいと思っても、保護者の理解を得ながら進めていくことは簡単ではない。

「やめる・続ける」だけでなく、
私たちはこの行事で何を大切にしたいのか。

その理由を職員で共有し、保護者にも丁寧に伝えていく。

「マーチングをやめたい」という声は今回の付箋記録に基づく。マーチングそのものの是非を示すものではない。

保護者の期待

子どもの成長を感じられる楽しい行事
これまで続けてきた内容への期待もある

他園の工夫を、自園の選択肢に

付箋にある工夫

年齢別・別日・二部／三部制

日頃の遊び・子どもが選ぶ内容

親子参加・親子で楽しむ行事

園内と外部施設の使い分け

他園の方法を手がかりに、自園の子どもの姿と照らし合わせる。

自園で考える視点

この子たちに合う集まり方は？

今、夢中になっていることは？

一緒に味わいたい経験は？

安心して動ける場は？

全体分析:縮小ではなく再構成

子どもの姿に合わせて、 運動会の組み立てを問い直す

参加年齢や時間を組み直す
日常の遊びや子どもの選択を内容につなげる
親子で参加し、育ちを共有する

全園児での開催、リレーや表現を大切にする実践もある。
今回の記録から見えるのは、各園が意味を問い直す姿です。

これから考えたいこと

「運動会だから何をする？」から

「なぜこの行事をするのか？
子どもたちに、どんな経験をしてほしいのか？」へ

大切にしたいこと、見直したいことを
自園の職員と、一つずつ言葉にしてみませんか。

おまけ☆彡

他にもこんな話題がありました♪(一部です)

- さぽーとの子の参加方法は？
- お土産どうしてる？
- 撮影マナーなどの約束事について
- 行事が我が子と重なったら？(同じ園に預けてる場合は？)
- 卒園児はどうしてる？

- 他の行事のこともききたい(生活発表会や遠足の行き先など)
- 行事費ってどうしてる？
- 視力検査はどうしてる？
- ハサミはどのように……？

などなど色々な対話がなされたようです。話が尽きないグループもありました。
皆さま本当にありがとうございました！